

都道府県名: 岩手県 団体名: 江刺猿ヶ石土地改良区

地 域

江刺猿ヶ石土地改良区が農業水利施設を管理している岩手県奥州市・北上市・花巻市は、県の内陸南部に位置し、地域の中央を南北に流れる北上川流域に美しい田園地帯が広がり、西に奥羽山系、東に北上山系の山々が連なる豊かな自然に恵まれた地域です。

経 緯

- 慶長元年(1596年) 本格的な用水路となる桑折堰の開削が始まる
- 大正 4年 耕地整理組合が設立され、頭首工等の用水施設整備が始まる
- 大正 9年 立花頭首工等が完成し江刺地区へ安定した用水の供給開始
- 昭和27年 江刺土地改良区設立(S34～49にかけて隣接土地改良区と合併)
- 昭和31年 猿ヶ石南部土地改良区設立(S37～50にかけて隣接土地改良区と合併)
- 昭和35年 国営農業水利事業により田瀬ダムから猿ヶ石地区へ用水の供給開始
- 平成19年 江刺土地改良区と猿ヶ石南部土地改良区が合併し、江刺猿ヶ石土地改良区となる
(地区面積:6,014ha、組合員数:5,376名)

功績内容

- 一級河川北上川及び田瀬ダムを水源とする、奥州市、北上市及び花巻市に広がる約6千haの耕地を潤し、「江刺金札米」に代表される良質米の安定的生産に寄与しています。
- 地域の自治会や団体などと管理協定(アドプト協定)を積極的に締結し、農業水利施設の維持管理を農家と地域住民が一体となって実施しています。
- 土地改良区の役割や農業水利施設の多面的機能について理解を深めてもらうため、小学生を対象に「田んぼの水はどこから来るのか?」をテーマに施設見学会を毎年開催しています。
- 市やJAが主催する産業祭へ毎年参加し、パネル展示やアンケートを通じて、地域の水資源の大切さの広報活動を実施しています。
- 本県唯一、北上川本流に設置された「立花頭首工」及び「大堰用水路」は、「さくらの名所100選」「みちのく三大桜名所」の「北上展勝地」内に位置し、多くの観光客、市民が訪れる憩いの場となっており、農林水産省によって「全国疏水百選」に選定されています。



小学生を対象とした施設見学会



産業祭での広報活動



アドプト協定に基づく地域住民による
農業用施設の維持管理活動



立花頭首工(全国疏水百選)